

《記入例》

履 歴 書

ふりがな	あおば たろう	性別	生 年 月 日
氏 名	青葉 太郎	男・女	平成 4年 6月22日

現 住 所

〒980-8572

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

学 歴

2020年9月25日

東北 大学 農 学部 (生物生産科 学科) 卒業

2022年9月26日

東北 大学大学院 農 学 研究科 (資源生物学 専攻) 博士課程前期2年の課程 修了

2022年10月 1日

東北大学大学院農学研究科 (生物生産科学 専攻) 博士課程後期3年の課程 進学

研究歴

年 月 日

なし

職 歴

年 月 日

なし

【参考】

卒業・修了年月日 (東北大学の場合)

平成25年 (2013年) : 3月27日, 9月25日

平成26年 (2014年) : 3月26日, 9月24日

平成27年 (2015年) : 3月25日, 9月25日

平成28年 (2016年) : 3月25日, 9月26日

平成29年 (2017年) : 3月24日, 9月25日

平成30年 (2018年) : 3月27日, 9月25日

平成31年・令和元年 (2019年) : 3月27日, 9月25日

令和2年 (2020年) : 3月25日, 9月25日

令和3年 (2021年) : 3月25日, 9月24日

令和4年 (2022年) : 3月25日, 9月26日

令和5年 (2023年) : 3月24日, 9月25日

令和6年 (2024年) : 3月26日, 9月25日

2025年 (令和7年) : 3月25日, 9月25日

※ 他大学院等出身者は, 出身大学に確認すること。

- 備考
- 1 学歴のうち, 学士課程および博士課程前期2年の課程の年月日は, 学位授与年月日を記入すること。
 - 2 研究歴及び職歴は, 主なものを記入すること。

《記入例》

公 表 論 文 目 録

氏 名	青葉 太郎
学位(博士)論文の題名 ¹⁾ イネの窒素利用と光合成に関する研究	
学位(博士)論文の内容に関連する公表論文 ^{2,3)} Aoba T*, Nougakubu B and Yamaya T (2015) Photosynthetic characteristics in rice plants grown with different N levels. <i>Plant and Cell Physiology</i> 25 : 550-560 (査読有) Aoba T*, Nougakubu B*, Seika C and Yamaya T (2017) Improvement of nitrogen-use efficiency in rice leaves. <i>Agricultural and Biological Chemistry</i> 56 : in press (査読有) ※平成24年4月以降の博士後期課程編入学・進学者は、「学位論文提出に係る公表論文に関する申合せ (学生便覧参照)」により、学術雑誌等に第一著者として査読を受けた公表論文 (学位論文の内容に関連があるもの) が1報以上掲載 (印刷中のものも含む) されていることが必要である。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"><p>※ 「*」を付けるのは自分自身ではなく、第一著者及び第一著者相当の著者なので注意。自分自身に「*」や下線、太字にする必要はない。</p></div> その他の公表論文 Nougakubu B*, Seika C*, Syokubutsu D, Aoba T and Yamaya T (2016) A root-specific nitrate transporter of the plasma membrane in rice. <i>Plant and Soil</i> 152 : 22-29 (査読有)	

備 考

- 1 学位(博士)論文の題名が外国語の場合は、活字体で記入し、日本語の訳文を括弧書きすること。
- 2 著者名、論文名、掲載誌名、巻・号、最初と最後の頁、発表年(西暦)、査読の有無、について記入すること。印刷中の論文はin press (または印刷中) と明記すること(in press 論文に関しては、受理が決定されていることを示す通知書等を合わせて提出すること、コピー可)。各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。第一著者および第一著者相当の著者には*を付すこと。在学期間短縮で学位論文を提出しようとする者は、掲載雑誌のIF値等の記入をすること。なお、未発表の論文を含めることはできない。
- 3 公表論文に含まれる内容であっても、学位論文提出者本人が行った研究データでない限り、学位論文の内容に含めることはできない。